

躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保 文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

家庭を幸福にするには

朝起きたとき、先ず新しき日の朝を迎えることができた事の幸福を神に対して感謝しましょう。「此の日、よき日、よきこと来る日」と想つて感謝しましょう。

その感謝の念、悦びの念がその日いちにちの最初に起るとき、他の条件が混入しない限り、「類を以て集る」と云う心の法則により、その日いちにち善き事がむらがり来ることになるのであります。

神への感謝を終ったのち、家族に和顔愛語せよ。和顔愛語の中から家族の健康がうまれて来るのです。神は愛であるから、愛を出口として、神はみずからを表現しようとしていたまうのです。神の表現の出口を鎖すことなかれ。この世界を神の愛の表現の世界とせよ。

小さな愛語を忘れてはならないのである。家族は小さな愛語でその家庭を極楽にも感ずるし、小さな叱りつけでその家庭を地獄にも感ずるのです。家庭を先ず天国にいたしましょう。

(新装新版『真理』第7巻338〜339頁)

尊師ご生誕130年、住吉大神と谷口雅春先生の御愛に応え、聖經読誦に励みましょう!!

聖經『甘露の法雨』千回読誦の尊いはじまりについて

本紙に合わせて発行している特別報告「シリーズ解体」は今号で7回目となりました。その中にあります「聖經『甘露の法雨』は小さくは個人の病いをいやし大きくは国家の大病、世界の大病をも癒すことができるのである」との尊師のお言葉と、千巻読誦の始まりについてご紹介します。

昭和38年、谷口雅春先生ご夫妻は7カ月わたる「世界平和祈願世界御巡錫」の壮途に立たれます。お見送りのため羽田空港に集まった吉田武利教化支部長(後の生長の家理事長)ら東京都の幹部に、尊師は自ら

「握手をされてご出発になりました」と握手をされてご出発になりました。

感激した東京都の幹部が、尊師御帰朝後の御講習会には3万名を集めようとの決意を固めたとき、御巡錫中の谷口雅春先生が聖經読誦を強調され、「国家、世界の病を癒し」と、力強く説法されていることを伝え聞いたのです。

「ああ、これだ!」と「聖經千回読誦会」



谷口雅春先生はじめ四先生が20年以上読誦されていた聖經『甘露の法雨』戦時中ハワイで印刷製本されたもの(『生長の家』より引用)

がつくられることになり、①御巡錫の御成果と御無事を心から祈願すること、②御留守中の東京都の光明化運動に尊師の化身となつて一所懸命やるための誠の表

現として、③さらに信徒自身が霊的エネルギーを受けるために、『東京都「聖經千回読誦」運動』が起ったのです。

尊師はこのことを大変お喜びになり、谷口清超先生にお手紙を送られます。

そして白鳩会の会合において谷口清超先生から、「谷口雅春先生は千回読誦を本当に有難く思われて、その愛念を受ける神聖観」をなさつていらつしやる」とのご報告を聞いた信徒は感激し、「聖經千回読誦」運動が盛り上がることとなったのです。

当時の千回読誦実践者の座談会の記録が残っています。「消極性がなくなった」「両手のひらの痺れが治った」「やけどが速やかに快癒した」「階段から落ちて骨盤が折れ脊椎がずれたが、手術せずギプスだけで全快し退院できた」「親子3人喧嘩ばかりしていた家庭が天国になった」「糖尿病が消えた」「神経痛が消えた」「15年間苦しめられていた皮膚病が消え、家中を小躍りして走り廻った」(『光の泉』昭和38年10月号)

この実例にあるとおり「個人の病を癒す」とともに、終戦時における最大の危機を田中静壹大将が聖經によって未然に防いだように、「国家の大病、世界の大病をも癒す」のが聖經『甘露の法雨』です。

本年は尊師ご生誕130年の記念すべき年であり、3月1日は立教93周年にあたります。聖經を天降し給うた住吉大神の御愛に応え、聖經読誦に励みましょう。(佐々木憲彦)

春のお彼岸には、供養もれのないよう

多くの霊牌を出しましょう!!

たさかひろし
田坂広志著『死は存在しない』
を読んで



どこの書店でも平積みされている田坂広志著『死は存在しない』最先端量子科学が示す新たな仮説』を読みました。

原子力工学が専門である著者が、これまで科学が否定してきた「死後の世界」に言及されたことに敬意を持つとともに、肉親を亡くした遺族にかけるといふ次の言葉に共感しました。

「父母を亡くされた遺族の方には、必ず、『お父様は、天界から導いてくれていますよ』や『お母様は、天界から守ってくれていますよ』と語りかける。(中略)そして、筆者(田坂広志氏)は、ときに、遺族の方に、日々の習慣として、他界した肉親を心に抱きながら、『導きたまえ』『守りたまえ』と祈ることを勧めている」

ところで、「最先端量子科学」など学んだこともないのに、何故この書の内容が理解出来たのか? それは『生命の真相』を拝読していたからです!

谷口雅春先生が『生命の真相』生活篇はしがきにお書きになっているように、「人間の本质(その生命の実相)が太陽をつくり、無数の星辰をつくり、地球をつくったと同じき偉大なる力である」ということを、理論的に、そして新しい物理学や医学等に言及しながら、明らかにして「下さったからで

あります(傍点筆者)。

霊牌供養の意義について

谷口雅春先生は、親しき人を亡くした人たちに、『生命の真相』『霊界篇』の「平等心より観たる霊界の消息」を読むよう勧められています。



「親しき愛する家族又は友人にわかれて悲しみに打ちひしがれている遺族の人たちは『生命の真相』『霊界篇』に収録されているデンマルクの青年劇作家マグナッセンにあらわれた彼の父の霊魂からの通信を読んで頂きたい(中略)此のマグナッセンの自動書記現象による霊界通信の文章は非常に力強く、愛する人を現象界で失った遺族たちには非常な慰めになるものだから、そのような方々は『生命の真相』の原典については是非その全文を読んで頂きたいのである」(『生長の家』誌昭和48年8月号「明窓淨机」)

マグナッセンの父の霊魂は、自動書記(自分で内容を意識しないまま、意味をもった文章がつづられる現象)という方法で、息子マグナッセンに、次のように語りかけます。

「私は、たとえば空を一閃するところの稲妻のように、お前に来たとて、お前の思想の中に自分自身を置いたのである。こうして私はお前の手をもって手紙を書くことが出来る。これは死者の霊魂が現世の人に対して話すために採り得る方法のうち、最も完全な最も美

しき方法であるのである。

「私はお前の父であり、お前は私の子であるのだ。だから、(中略)お前の魂の内奥のリズムは、わが魂の内奥のリズムにピッタリと合うのだ。私は自分の魂の許に帰るかの如くお前の許に来ることが出来るのである。『すべての人類よ、神は活にたまう。汝もまた神の祝福の微笑みを見るであらう。』

「母よ、涙に泣きぬれたあなたの眼をあげよ。あなたの子は死んではいないのだ。彼は今も生きていて幸福である。『妻よ、良人を失いし者よ。汝の良人は、今も尚生きていて、そして霊界にて神を知れるぞ!』(『生命の真相』霊界篇)

私たちが先祖や先逝きし家族・親族、そして「袖振り合うも他生の縁」で出会った親しき人を思いながら霊牌に家名や名前を記載するとき、私たちの思いは(魂の内奥のリズムがピッタリ合うので)、一閃のうちに霊界の皆さんの魂の許に届き、その思いをよることで受け取って下さることでしょう。

三月のお彼岸には、供養もれのないよう霊牌に記載し、「生長の家社会事業団」「谷口雅春先生を学ぶ会」に提出して、招霊供養していただきます。



一柱一柱丁寧に招霊供養が行われる

『生命の真相』を読み続け、大安心で膝の手術に臨むことができました

富山県 山木文子(仮名)(92歳)

私は生長の家に入信して五十余年余りになります。この年になるまで病氣らしい病氣はしたことがありませんでしたが、昨年、突然左膝が痛くなり動くことも出来ず、寝たきりの生活が2カ月余り続きました。

それでも先祖供養、『甘露の法雨』の読誦は毎日欠かさず続け、『生命の真相』も1巻2巻3巻……と次から次へと寝ても覚めても読み続けていると、「今起ちなさい」と声なき声が耳に響きました。

すると地域の包括支援センターの方がお見えになり、「そのまま寝てばかりいると身体が動かなくなるよ」と歩行器を用意して下さいました。誰とはなしに神様が助けて下さるものだ大変嬉しくなりました。

病院では、「年が年だから色々検査してみないと手術できるかどうか分からない」と言われましたが、検査の結果、身体に異常はなく12月8日に手術を受けることができました。うになりました。手術は3時間半に及びましたが無事成功し、その後の回復も順調に、2週間で退院することができました。

これもひとえに「神癒・聖經供養」祈願と『生命の真相』のお陰です。『生命の真相』を読み続けることによって魂が豊かになり、実相は円満完全で、常に神様に守られているとの感が強くなり、何も恐れることなく神様に全托して手術に臨むことができました。

このすばらしい谷口雅春先生の御教えに感謝し、御恩に報いられるよう一人でも多くの人に御教えをお伝えして、人類光明化運動に邁進していきたいと思います。

生長の家「教義実践講座」喜びの声続々！

昨年12月3日・4日、千葉県習志野市において開催した「生長の家」『教義実践講座』に参加された方々のよきこびの声を、前号に引き続き掲載します。

神想観、聖經読誦、「日々が輝く六つの光明生活法」を実践します

宮嶋勢津子（北海道）

感動、感動の二日間でした。本当に参加させて頂いて良かったです。谷口雅春先生の素晴らしい話を深く解らせていただきました。

これまで、ゆったりやらなかったりの神想観、聖經読誦をしつかりとやっていきたいと思えます。日々の生活を輝かせる六つの光明生活法も毎日実践します。

谷口雅春先生を近くに感じ

涙があふれました

清水伸子（埼玉県）

二日間の講義は感動でいっぱいでした。今までは、谷口雅春先生が遠い存在のようでしたが、この二日間は本当に近くに感じられ、涙があふれてきました。改めて「行」を徹底し、一人でも多くの人にこのみ教えを伝えて行こうと決意致しました。

夫婦そろって実践していきます

徳満 静子（千葉県）

素晴らしい講師陣のもと中身の濃い講義を受けることができ、ありがとうございます。ありがとうございました。

谷口雅春先生の教えを学び直し、真剣に毎日「行」を重ねていくことの大切さを改めて実感しました。とりわけ神想観の実修は、大膳講師のご説明がわかり

やすく、実践しやすいと思えました。今までも

真剣に行じていた

養について、さらに学び直しができて勉強になりました。

夫婦そろって受講できて、これからの実践がやりやすくなってよかったです。

谷口雅春先生に

喜んでいただける生き方をします

上條 啓子（長野県）

安東先生のご体験、尊師への思いをお聞きして涙がこみ上げて来ました。谷口雅春先生のすばらしさを改めて実感しました。この感動を言葉で表すことは難しいです。

私はこのみ教えで救われました。本当に感謝しています。この思いをお返しするため、多くの方々にこのみ教えをお伝えし、谷口雅春先生に喜んでいただける生き方をしたいと思えます。

二日間で私の心は青空のようにスッキリしました。

一人出家すれば九族天に生る

加藤 玲子（埼玉県）

家庭でできる先祖供養を学びたいと思

天に生る」の意味が、こんなに大切な事だったのかとよくわかりました。

神の子の本当の意味を学ばせていただきました。信仰の柱を立てて行動していきたいです。

実相直入の覚悟が定まりました

照井 久（岩手県）

八人の講師陣による膨大かつ懇切丁寧な資料による講義は、感涙しっぱなしでした。

現実には、パーキンソン病の妻を伴った受講であり、「何故？」との迷いの中での受講でありました。また、盛岡支部長でありながら「どうして？」と問いつづけている自分がありました。でも、33万円献資をし、現象界から離れて実相直入しようと覚悟が定まりました。

苦手な神想観を

喜んで出来るようになります

熊谷キヌ子（北海道）

久しぶりに心熱くなる「教義実践講座」。帰りましたら、おみやげ話を待っている仲間に資料を見せて喜び合いたいと思えます。

決意したことは、苦手な神想観を喜んで出来るようになること、時間を決めて先祖供養をやっていくこと、誌友会を開催することです。

正しい宗教に巡り会えた幸福

杉本真佐子（千葉県）

家に帰っても講座での感動が残っていて、コロナ禍で後向きになっていた生活に明るい光が射した感じがしています。「谷口雅春先生を学ぶ会」という正しい

宗教に巡り会えた幸福をしみじみと感謝しています。

決意したことは、資料に基づいた先祖供養をきちんとすること、笑って明るく過ごすことです。昨年から朝食の前に10回笑ってご飯を食べるようにしていますが、もっと笑う機会を増やします。

最高の講師陣による圧巻の講義

1日目（12月3日）

『教義実践講座』を開催する今日的意義【久保文剛講師】

第1講座 谷口雅春先生の悟りへの道（その一）

「人間神の子」の根本自覚を得るために【安東 巖講師】

第2講座 谷口雅春先生の悟りへの道（その二）

「わが内なる神をあらわす三正行」【前原幸博講師】

○信仰生活の中心に神想観をおこう!!【実修】

第3講座

人生に家庭に幸福をもたらす光明生活（その一）

①「心と環境と運命、を変え

る」「唯心所現の原理」【國弘昭義講師】

②日々の生活を輝かせる

六つの光明実践法【木下千鶴子講師】

2日目（12月4日）

早朝行事

聖經『甘露の法雨』読誦・神想観【大膳和彦講師】

第4講座

人生に家庭に幸福をもたらす光明生活（その二）

①先祖供養の根本義について【小林俊朗講師】

②「家庭での先祖供養」・「誌友会での先祖供養」の具体的なやり方【前原幸博講師】

第5講座 住吉大神の導きを受けて

「人類光明化・日本国実相顕現の大いなる使命に生きる」【上野耕治講師】

結語 我ら久遠の谷口雅春先生とともに歩まん

「正しいみ教えの伝道者として」【安東 巖講師】

五つの事業を支える奉讀者586名御芳名

これまでご献資下さった方々の御芳名を謹んで記載させていただきます。深甚の感謝を捧げさせていただきます。

生長の家のみ教えを正しく護り
伝えるために!!

1口 33万円の特別献資に
ご協力ください!! (分割可)

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ①聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ②谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から77年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。そして、これら施策の遂行をなしとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

(同封のご寄付の申込用紙をご参照ください)

「谷口雅春先生記念図書資料館」行事案内

『真理』勉強会

3月4日(土) 4月1日(土) (13時半～15時半)

指導：熊本司講師 (元本部講師)
テキスト：新装新版『真理』第4・5巻



『生命の實相』輪読会

3月22日(水) 4月22日(土) (毎月22日 13時半～15時半)

指導：久保文剛講師 (元本部講師)
新編第14巻 (頭注版第8巻) 観行篇

定期一般開館日 (原則第1・3木曜日 11時～15時)

3月2日・16日、4月6日・20日

“全国練成道場講師陣”による個人指導

お悩みや心配事がある方は気軽に電話でお申し込みください。(遠方や急ぐ方は電話による相談も可能です)

読者の皆さまからの「喜びの声」

★毎回感動にて拝読しています。

令和5年は「谷口雅春先生の御教えを実践する年、先ずこの標題に強く射貫られました。久保理事長の御挨拶の御文章に心打たれ、改めて「生長の家社会事業団」の存在の意義、そして吾々信徒の使命の高貴かつ重大さを確信致しました。

今の吾々の使命は、正に「宇宙浄化」「鎮護国家」です。日々の祈り、先祖供養、言葉の力による潜在意識の浄化、並びに家族周囲の光明化の徹底実践ですね。(愛媛県・高本 強)

★安産成就で祈願をお願いしましたところ、予定日より3日早く、見事安産で元気な男の子が誕生いたしました。助産師という仕事柄、難産も見ていて「子供は産みたくない」と心配していました孫でしたが、神癒聖經供養祈願のお陰で、大安心で出産できたと喜んでいました。本当に有難うございました。(N・Y)

感想をお寄せください!!

「躍進する生長の家社会事業団」をお読みいただいた感想を、FAX又は右のQRコードでお寄せください。FAX：042-843-0076



3月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(水)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
4(土)	『真理』勉強会(熊本司講師)	13時半～	図書館
11(土)	古事記連続勉強会(新教連)	13時半～	図書館
14(火)	『いのちのゆには』の神示祭	11時～	社殿
15(水)	使命邁進の神示祭	11時～	社殿
16(木)	至上者の自覺の神示祭	11時～	社殿
22(水)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館
26(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時～	道場

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。
生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しいみ教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

4月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(土)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭 『真理』勉強会(熊本司講師)	10時半～ 13時半～	道場 図書館
5(水)	萬教歸一の神示祭	11時～	社殿
8(土)	古事記連続勉強会(新教連)	13時半～	図書館
10(月)	無相圓相一切相の神示祭	11時～	社殿
16(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時～	道場
22(土)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館

4月23日谷口雅春先生を学ぶ会全国大会

講師 安東 巖先生 (全国練成会特任招聘講師)
松浦光修先生 (皇學館大学教授)

神様の祝福に包まれた幸福人生を招く
「聖使命奉讃会」(月額一口1000円)
にご入会ください。

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う
「神癒・聖經供養」祈願

問題解決、神癒の体験続々と!

毎朝9時～10時半、聖經三巻読誦による供養を谷口雅春先生報恩全国練成道場において行っています。

『谷口雅春先生報恩全国練成会ゲスト
講師講話筆録(安東巖先生、高倉俊治先生)』

「先祖供養」等、3講話を収録! 読者の皆様から感動の声が続々と届いています。是非お求め下さい!!

たえず新たな表現内容を生み出す者は、刻々若返る。小児の生命が潑刺としているのは、彼は自己のうちに新たな表現内容を蔵しているからである。たえず新しくなること——これが永遠に死なない道である。(『生命の實相』頭注版第37巻 幸福篇)